

緩和ケアがシームレスに担保されるための地域連携とは ～専門的緩和ケアにおける 退院支援を再考する～

日時

2026年 3月 7日(土)
13:00-16:00

方法

WEB開催(zoom)

パソコン、タブレット、スマートフォンで受講可

対象

日本ホスピス緩和ケア協会 正会員・準会員
ソーシャルワーカー及び他職種(医師、看護師、
薬剤師、リハビリ、心理士、事務員等)

MSW 50名
他職種 先着20名
(事前予約制)

参加費:1,000円

わが国の緩和ケアは大きく変化しており、ことに緩和ケア病棟の役割や退院支援は変化が大きい。がんの治療・急性期病院より緩和ケア病棟への退院支援から、緩和ケア病棟から緩和ケア病棟への転院、緩和ケア病棟から在宅やホスピス型住宅への退院、緩和ケア病棟から急性期病院への転院など、「退院支援」は複雑かつ多様化している。

本セミナーでは、緩和ケアにおける経験豊かなパネラーよりの現況報告・提言をいただいた後、参加者のグループワークと全体共有により、切れ目なく質の高い緩和ケアの担保のための専門的緩和ケアにおける退院支援について深め、再考したいと考えている。

▶ 13:05～14:35 パネルディスカッション

医師の立場から

相河 明規先生

裾野赤十字病院

桜町病院聖ヨハネホスピスで研修後、静岡県立静岡がんセンター緩和医療科で緩和ケア病棟勤務。ケアタウン小平クリニックで在宅緩和ケア勤務を経て、現在、静岡県東部にある裾野赤十字病院にて地域包括緩和ケアに取り組んでいる。

日本緩和医療学会 緩和医療専門医・指導医。日本死の臨床研究会 代議員・教育研修委員会委員。

看護師の立場から

梅田 恵先生

緩和ケアパートナーズ

がん看護専門看護師、聖路加看護大学院博士課程修了。淀川キリスト教病院及び昭和大学病院にて緩和ケアに従事後、昭和大学大学院保健医療学研究科教授を経て、ファミリーホスピス(株)執行役員。2025年11月から(株)緩和ケアパートナーズで緩和ケアに関する教育、コンサルテーション活動を開始。認定NPO法人マギーズ東京理事、認定NPO法人キャンサーネットジャパン理事、NPO法人ともいき京都監事。

MSWの立場から

太田多佳子先生

松山ベテル病院

認定社会福祉士(医療分野)・認定医療社会福祉士。1995年松山ベテル病院医療社会福祉課入職後、同法人老人保健施設、在宅療養支援診療所を経て、松山ベテル病院医療相談室・地域医療連携室に勤務。日々入退院支援と訪問診療・在宅サービス調整支援に携わっている。愛媛県在宅緩和ケア推進会議委員・NPO法人日本ホスピス緩和ケア協会理事。

▶ 14:45～16:00 グループワーク・全体共有

申し込み方法は裏面をご確認ください

申込方法

QR CODE



申込期間：2026年1月5日(月)～2026年2月6日(金)17時

申込方法：右記のQRコードからお申込みください。

参加費：1,000円(不課税)

※受講後に受講証を発行いたします【メール添付にて送付】

【注意事項】

- ・当日は1人1端末での参加をお願いいたします
- ・録音・録画はお断りいたします。
- ・参加決定・入金方法のご連絡はメールにて、2月16日頃までに個別にお送りします。
迷惑メール対策の強化により、ご連絡のメールが届かない事例が発生しております。17日を過ぎてもメールが届かない場合は、お早めに事務局までご連絡ください。
- ・ご入金後の返金はいたしかねます。但し、主催者側の通信環境のトラブルにより受講できなかった場合は返金いたします。

お問合せ：日本ホスピス緩和ケア協会 事務局

〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1

Tel:0465-80-1381 E-Mail:info@hpcj.org